

後期高齢者医療制度の中止・撤回をめざす 3.12国会内集会に各党議員が出席!

自民党議員も参加

「廃止法案」の審議入り 与党に要請、野党に激励をしよう!



「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を! ~ 党派超え国会内外の声が一つに ~
後期高齢者医療制度の中止・撤回法案の審議・成立を

苫小牧病院組織課長 浅間如二

3月12日、中央社保協などが呼び掛け取り組まれた国会行動に、道民医連、道東、オホーツク勤医協の仲間とともに参加しました。

最初に紙智子参院議員を訪ね署名を手渡し、午後から国会前での集会に参加しました。集会には450人が参加し、塩川てつや衆議院議員の国会報告と参加した団体、地域からの報告があり、2月28日に衆議院に提出された「後期高齢者医療制度の中止・撤回法案」の早期審議入り・成立を求めるシュプレヒコールを上げました。

その後、国会内で開かれた医団連が主催する「後期高齢者医療制度の中止・撤回をめざす3.12国会内集会」に参加しました。集会には公明党を除くすべての党から参加した25人の国会議員（代理を含め44人）と全国から集った250人を超える人々が参加し、後期高齢者医療制度の中止・撤回を求め熱気あふれるものとなりました。

集会に参加した議員からは後期高齢者医療制度の中止・撤回、「中止法案」の審議入りを求める決意が語られ集会アピールが採択されました。

自民党の議員は「わたしたちも十分な説明を受けていない。与党議員にも内容を理解していない議員が多いのではないかと。国会審議を通じて何が問題なのか明らかにしてほしい」と述べ、与党内でも中止・廃止を求める声があることを紹介し、まともな審議と国民の同意を得ていない後期高齢者医療制度の問題点があきらかになりました。

集会後、道内選出の議員を回り民主党の逢坂誠二議員、松木けんこう議員と面会し要請文を渡しました。両議員とも「みなさんと同じ気持ち。中止・撤回のために頑張る」と決意を語っていました。

増やそう! 医師・看護師、後期高齢者医療制度の中止・撤回! 3.13共同行動に900人が参加一街頭・地域へ



3月13日、全国統一ストライキにあわせて勤医協・勤医労の共同行動が取り组まれました。

朝・午後・夜の行動で、駅頭宣伝、街頭での宣伝・署名、地域訪問、医療機関・団体訪問を行い、約900人が参加しました。医師・看護師増員署名は1169筆、後期高齢者は592筆が集まりました。

本部事務局では地域の94軒を回りましたが、後期高齢者制度をまだ知らない人がたくさんいました。

後期高齢者医療制度保険証送付が始まりました

札幌では3/14頃から新しい保険証の送付が始まり、21日頃にはほとんどに届く予定です。高齢者から区役所や医療機関へ「これは何か?」という問い合わせが予想されます。

「世帯分離」は年度内に

子どもが世帯主で同居している後期高齢者に該当する親の場合、本人の年金が少なくても所得に世帯主が合算されるので、保険料軽減されなくなります。こういう場合は生計が別という世帯分離が有効ですが、07年度中3月末までに行わないと、08年度からの保険料に反映しません。必要な人は早めにしましょう。

共同デスク

4 5 9 2008年3月19日

北海道勤医協本部組織広報部
823-0867 fax 821-3701